

オーエスキー病 とは

オーエスキー病ウイルスを原因としたブタの病気です。本病に感染すると異常産や神経症状の発症により養豚業の生産性を低下させることから、家畜伝染病予防法の届出伝染病に指定されています。本病はワクチンによるコントロールが可能であり、諸外国ではワクチン接種の徹底等による清浄化の成功事例があります。

1 原因(病原体)
豚ヘルペスウイルス1

2 感受性動物
豚、いのしし

3 症状
妊娠豚に感染すると流死産を起こす。
新生豚に感染すると、神経症状を呈してほぼ100%死亡する。



【旋回運動(神経症状)をする発症子豚】
(出典:家畜疾病総合情報システム)

4 発生状況

(1)国内

平成29年5月現在、4県(※)において清浄化対策を推進しているところ。

(※1)茨城、群馬、千葉、鹿児島

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
戸数	2	0	1	0	0	1	0
頭数	5	0	3	0	0	5	0

(出典:家畜衛生週報)

5 診断法

(1)野外ウイルス感染抗体の検出を行う。

(2)病畜等からウイルスの分離を行う。
(ワクチン抗体とは識別可能)

6 予防法

ワクチン接種

7 治療法、対策

治療法はない。

本病対策に関しては、オーエスキー病対策要領に基づき、地域ごとに清浄化対策準備段階、清浄化対策強化段階(前期・後期)、清浄化監視段階(前期・後期)、清浄段階の6段階に区分し、野外ウイルスと識別可能なワクチンの接種、野外ウイルス感染豚の淘汰、消毒等の飼養衛生管理の徹底が行われている。